

次期尾道市総合計画
基本構想～まちづくりビジョン～
(素案) について

【1】尾道市総合計画について

1. 総合計画の策定趣旨
2. 次期総合計画策定に向けた考え方

【2】次期尾道市総合計画 基本構想～まちづくりビジョン～（素案）

1. めざすまちの姿の検討
2. めざすまちの姿
3. めざすまちの姿を実現するために
 - (1) みんなで取り組んでいくうえで大切にしたいこと
 - (2) 実現に向けた6つのテーマ

基本構想～まちづくりビジョン～の構成（前回会議との比較）

基本構想の構成	前回会議	今回資料
1. めざすまちの姿の検討 2. めざすまちの姿 3. めざすまちの姿を実現するために	1. めざすまちの姿の検討 ・市民が描く10年後のまちの姿と6つの柱 2. めざすまちの姿 「つながり めぐる つづく 尾道」 【つながり】笑顔でつながり学び・育つまち 【めぐる】地域の魅力と活力がめぐりにぎわうまち 【つづく】“住みたい”がつづく安全・安心で快適なまち 3. めざすまちの姿を実現するために 大切な3つのC	1. めざすまちの姿の検討 ・18の市民が描く10年後のまちの姿 2. めざすまちの姿 ◎めざすまちの姿 心がつながり支え合い高め合うまち 地域の魅力が輝き活力がめぐるまち 幸せがつづく誰もが住みたいまち ◎めざすまちのイメージ All Onomichiでつながる未来 ～元気と幸せがつづくまち 尾道～ 3. めざすまちの姿を実現するために (1)みんなで取り組んでいくうえで大切なこと (2)実現に向けた6つのテーマ

1. 総合計画の策定趣旨

本計画は、まちづくりを進めるための指針として最も基本となる計画であり、本市の最上位計画です。

本市では、令和8年度を目標年次とする総合計画を平成28年度に策定し、「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる～誇れるまち『尾道』～」を都市像として、各種の施策・事業を推進してきました。この間、人口減少や少子高齢化の進行、感染症拡大を契機とした行動変容、AI（人工知能）やデジタル技術の急速な進展等、本市を取り巻く状況は大きく変化してきました。

こうした中、社会変化に適応したまちづくりを進め、持続可能なまちづくりの方向を示す指針として、令和9年度から令和18年度を計画期間とする次期総合計画を策定します。

なお、本計画の策定にあたっては、予測が困難な変化の激しい時代にあっても変わらない将来像として「めざすまちの姿」を位置付け、その実現に向けて必要な施策や取組を見定め、実行していきます。

構成		計画期間			
		現計画		次期計画	
基本構想	本市のめざすまちの姿や、まちづくりの考え方、基本的方向を示すもの（まちづくりビジョン）	10年		10年 2027（令和9）年度～ 2036（令和18）年度	
基本計画	基本構想に基づき、めざすまちの姿を実現するために取り組む施策を体系的に示すもの（まちづくりプラン）	5年	5年	5年 2027（令和9）年度～ 2031（令和13）年度	5年 2032（令和14）年度～ 2036（令和18）年度

2. 次期総合計画策定に向けた考え方

（１）策定の基本となる考え方

① 尾道の強みを活かした持続可能なまちづくり

人口減少や少子高齢化が進行する中、社会情勢の変化に適応したまちづくりに取り組みます。

② 実効性のある計画

尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体化した計画の作成、市民参画による計画策定、個別計画との整合性を図った計画とします。

（２）完成イメージ

① 市民の皆さんとともにめざすまちづくりの方向性が、体系的に整理された計画とします。

② 総合計画と政策分野ごとの個別計画との関係性を明確に示すことにより、めざすまちづくりの方向について、市民の皆さんや行政において広く共有できるよう、分かりやすい計画とします。

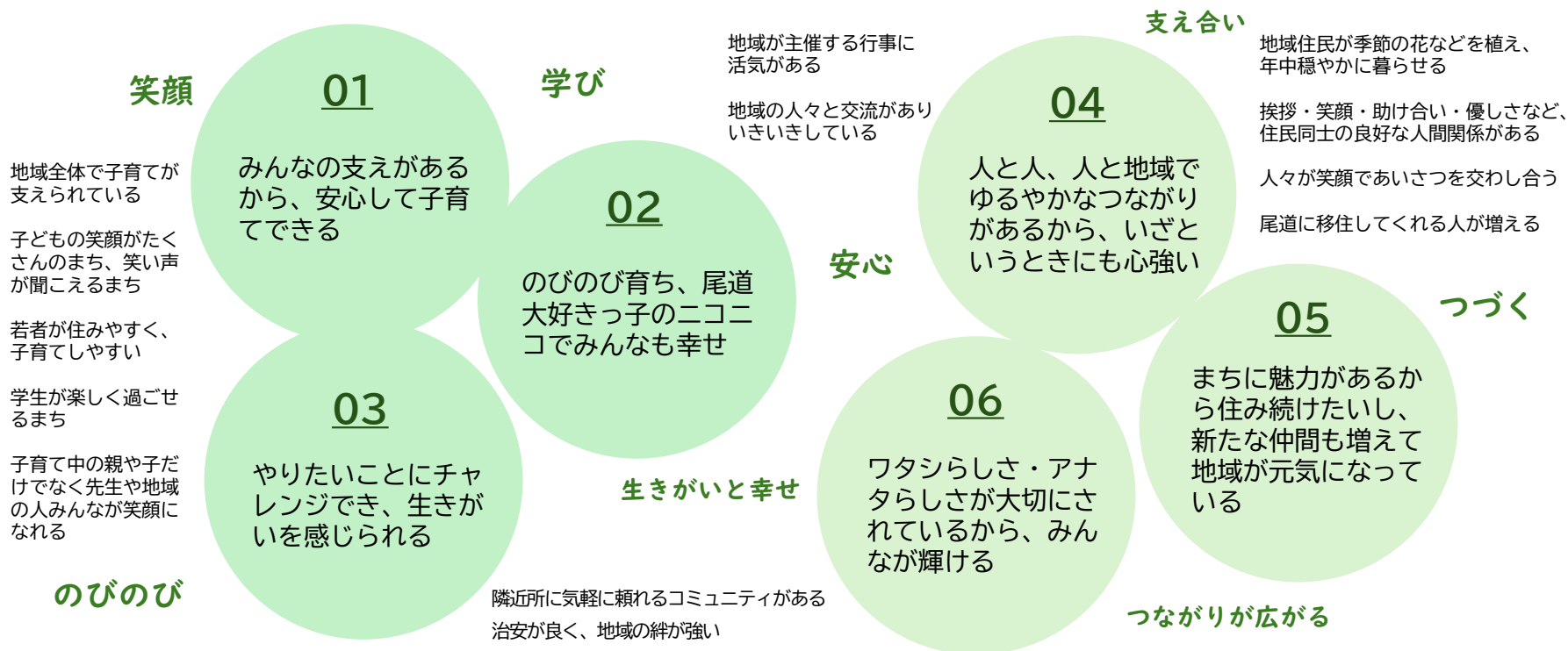
【2】次期尾道市総合計画 基本構想～まちづくりビジョン～（素案）

1. めざすまちの姿の検討 ①

総合計画の策定にあたり、どんなまちなら住みたいと思うか、どんなまちになってほしいか、市民満足度調査や中高生世代アンケート、市民ワークショップ、庁内会議を実施し、幅広い年代、様々な立場の方からご意見をいただきました。

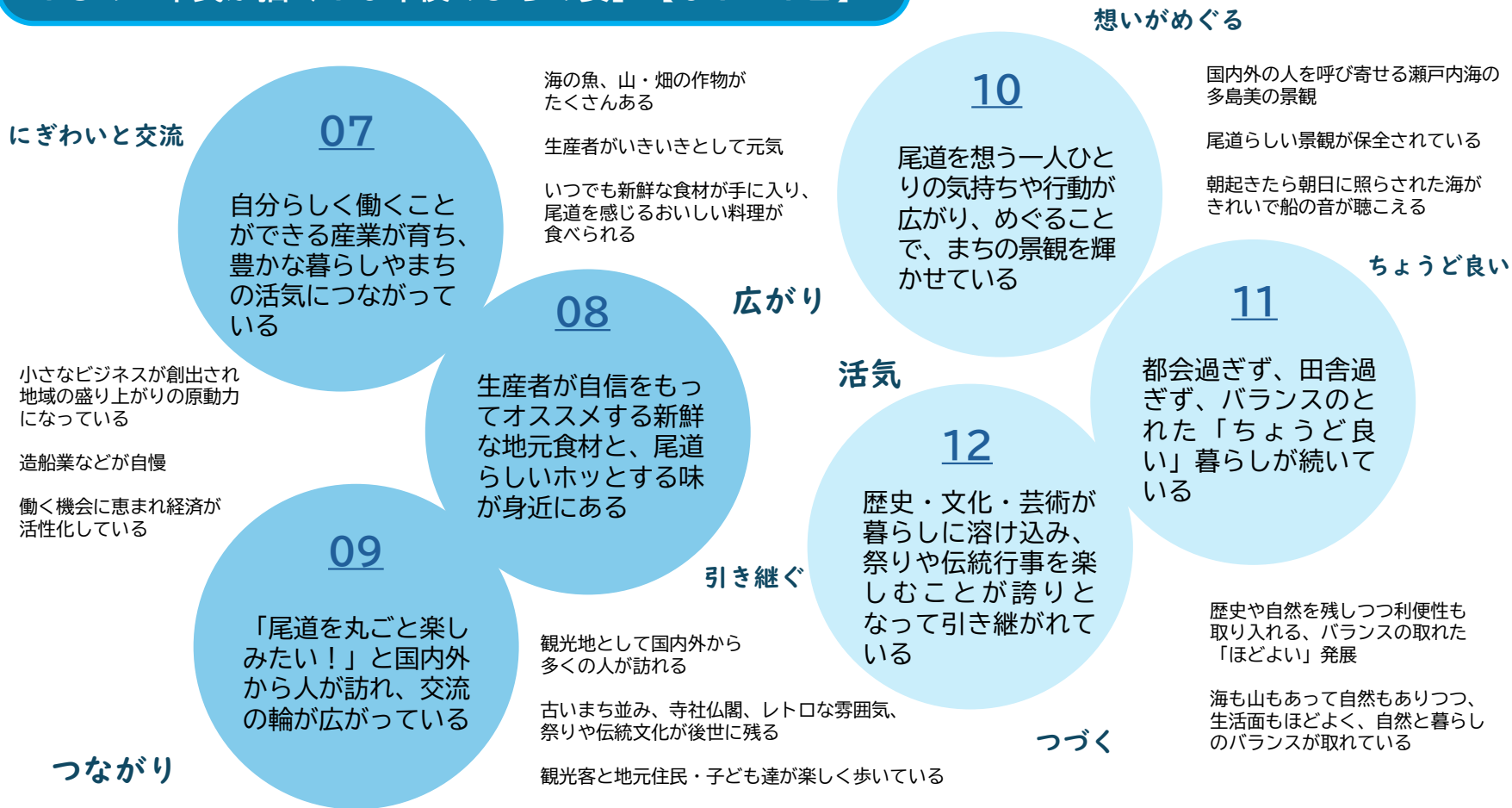
いただいたご意見をもとに、共通する思いや大切にしたい視点を整理し、市民と行政が一体となり実現をめざす理想のまちの姿を、**18の「市民が描く10年後のまちの姿」**としてまとめました。

18の「市民が描く10年後のまちの姿」【01～06】



1. めざすまちの姿の検討 ②

18の「市民が描く10年後のまちの姿」【07～12】



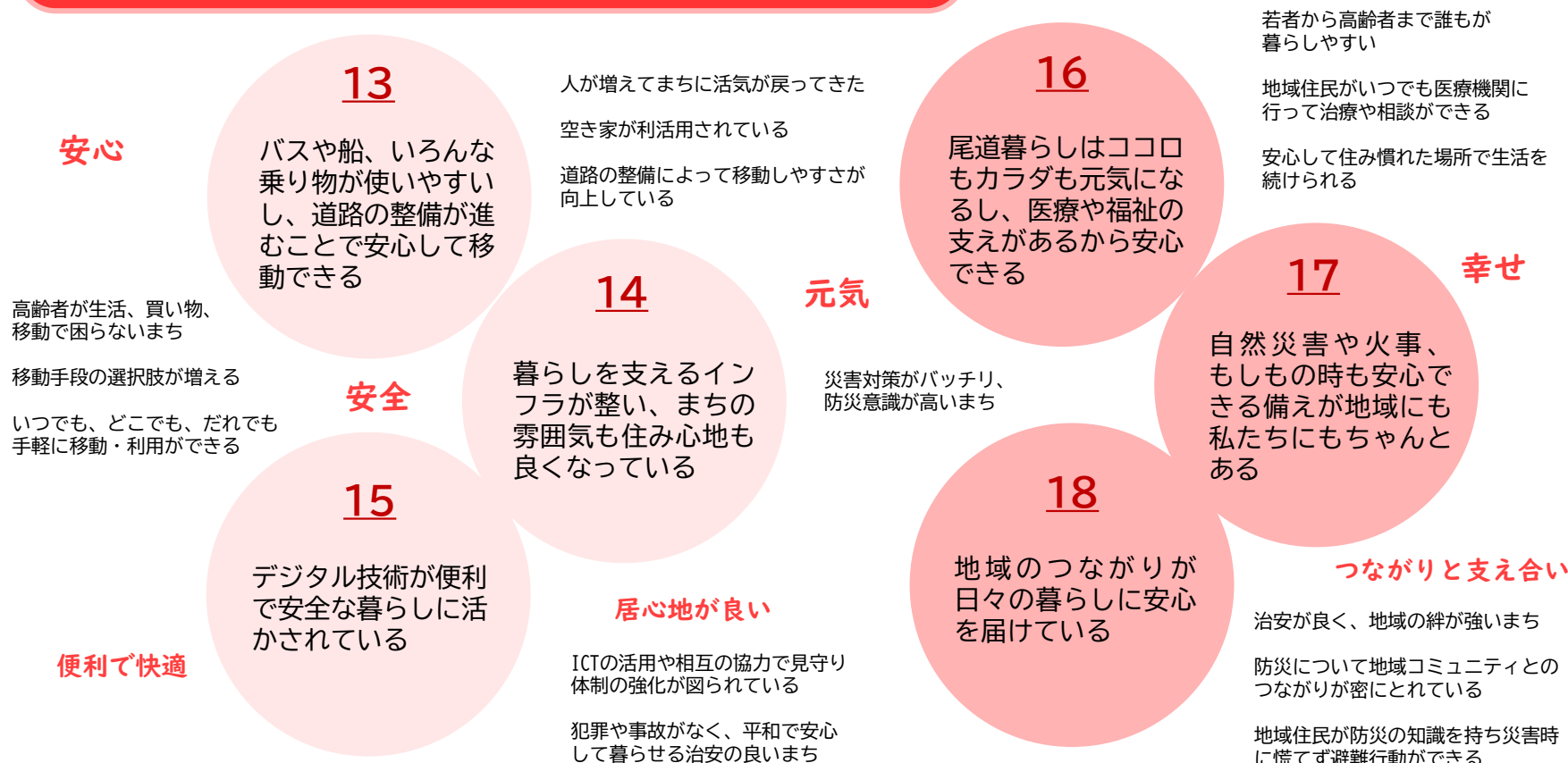
【5～7頁について】

- 丸の中にある01～18が「市民が描く10年後のまちの姿」です。
- 丸の周辺には、18のまちの姿を抽出するもととなった、市民の皆さんの主なご意見やアイデアを掲載しています。
- 色付きのワードは、多くのご意見やアイデアの中に見られた共通するキーワードです。

【2】次期尾道市総合計画 基本構想～まちづくりビジョン～（素案）

1. めざすまちの姿の検討 ③

18の「市民が描く10年後のまちの姿」【13～18】



いただいた様々なアイデアやご意見をまとめる中で、「つながり」や「支え合い」「広がり」「つづく」が共通するキーワードとして見えてきました。

2. めざすまちの姿

この共通するキーワードをもとに、本市では、次のとおり「めざすまちの姿」と、みんなで共有するための「めざすまちのイメージ」を設定します。

めざすまちの姿

心がつながり 支え合い高め合うまち

人と人、人と地域など、様々な心がつながりは、支え合いや学び合う関係性を育みます。こうしたつながりが、まちへの誇りや愛着を生み、誰もが自分らしく、いきいきと暮らせるまちをめざします。

地域の魅力が輝き 活力がめぐるまち

地域の魅力ある豊かな自然、歴史や文化・芸術を大切にしながら、交流の拡大や産業の振興などを図り、地域の活力を高めていきます。こうした尾道ならではの活力がめぐることで、地域全体の発展につながるまちをめざします。

幸せがつづく 誰もが住みたいまち

これまで積み重ねてきた地域の魅力を継承しながら、安全・安心で快適に暮らせる環境を充実させるとともに、未来へつないでいくことで、誰もが幸せを感じ、住み続けたいと思えるまちをめざします。

めざすまちのイメージ

All Onomichiでつながる未来
～元気と幸せがつづくまち 尾道～

【2】次期尾道市総合計画 基本構想～まちづくりビジョン～（素案）

3. めざすまちの姿を実現するために

（１）みんなで取り組んでいくうえで大切にしたいこと

めざすまちの姿の実現に向けて、市民の皆さんと行政が一緒になって取り組んでいくうえで大切にしたいことを設定しました。

これらの大切にしたいことは、それぞれ具体的な施策や事業を示すものではなく、これからのまちづくりを進めていくうえで、あらゆる分野に共通する視点や大切にしたい思いを表したものです。

社会や地域を取り巻く環境が変化する中においても、多様な主体が互いにつながり、それぞれの役割を担うことで、めざすまちの姿の実現に向けてみんなで取り組んでいきましょう。

みんなで取り組んでいくうえで大切にしたいこと

● 変化をしなやかに受けとめる

これまでの価値観や守るべきものを大切にしながらも、変化する社会の中で一人ひとりが考え方を柔軟に変えることを意識し、協力しながらより良いまちづくりにつなげていきましょう。

● やってみようを応援する

「古き良き文化を大切にしよう」「新たなことに挑戦しよう」など、一人ひとりのやってみようを尊重し、相互に応援し、支え合いながら一歩が踏み出せる環境を整えていきましょう。

● このまちを選びともに暮らす

いま暮らす人が「住み続けたい」、訪れる人・関わる人が「住みたい・戻って来たい・また来たい」と思い、選ばれ続けるまちをつくっていきましょう。

3. めざすまちの姿を実現するために

（2）実現に向けた6つのテーマ

次に、めざすまちの姿の実現に向けて、6つのテーマを設定しました。

テーマは、18の「市民が描く10年後のまちの姿」を関連する内容ごとにまとめた、施策の方向性を示すものです。基本計画では、6つのテーマに沿って施策に取り組みます。

01

みんなの支えがあるから、安心して子育てできる

02

のびのび育ち、尾道大好き子のニコニコでみんなも幸せ

03

やりたいことにチャレンジでき、生きがいを感じられる

04

人と人、人と地域でゆるやかなつながりがあるから、いざというときにも心強い

05

ワタシらしさ・アナタらしさが大切にされているから、みんなが輝ける

06

まちに魅力があるから住み続けたいし、新たな仲間も増えて地域が元気になっている

➡学び・育つ 《参考》子育て 教育 生涯学習・スポーツ

➡支え合いひびきあう 《参考》協働 人権 多文化共生 移住・定住

07

自分らしく働くことができる産業が育ち、豊かな暮らしやまちの活気がつながっている

08

生産者が自信をもってオススメする新鮮な地元食材と、尾道らしいホッとする味が身近にある

09

「尾道を丸ごと楽しみたい！」と国内外から人が訪れ、交流の輪が広がっている

10

尾道を想う一人ひとりの気持ちや行動が広がり、めぐることで、まちの景観を輝かせている

11

都会過ぎず、田舎過ぎず、バランスのとれた「ちょうど良い」暮らしが続いている

12

歴史・文化・芸術暮らしに溶け込み、祭りや伝統行事を楽しむことが誇りとなって引き継がれている

➡にぎわいの輪が広がる 《参考》産業 観光・交流

➡守り輝かせる 《参考》景観 歴史・文化・芸術

13

バスや船、いろんな乗り物が使いやすいし、道路の整備が進むことで安心して移動できる

14

暮らしを支えるインフラが整い、まちの雰囲気も住み心地も良くなっている

15

デジタル技術が便利で安全な暮らしに活かされている

16

尾道暮らしはココロもカラダも元気になるし、医療や福祉の支えがあるから安心できる

17

自然災害や火事、もしもの時も安心できる備えが地域にも私たちにもちゃんとある

18

地域のつながりが日々の暮らしに安心を届けている

➡快適にくらす 《参考》生活基盤 環境

➡安全・安心がつづく 《参考》健康・医療・福祉 消防・防災 防犯・交通安全 行政経営